

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成22年8月12日 (2010.8.12)

【公表番号】特表2009-540615(P2009-540615A)

【公表日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-515583(P2009-515583)

【国際特許分類】

H 0 1 L 33/48 (2010.01)

H 0 1 L 33/00 (2010.01)

【F I】

H 0 1 L 33/00 N

H 0 1 L 33/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月11日 (2010.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光面を有し、L E D 及び再発光半導体構造体を含む L E D コンポーネントであって、前記 L E D は第 1 波長の光を放射可能であり、前記再発光半導体構造体は p n 接合内に位置しない第 2 ポテンシャル井戸を有する L E D コンポーネントと、

入力面及び出力面を有する光学素子であって、前記入力面は前記発光面の少なくとも一部と光学的に接触している光学素子と、を備える光源。

【請求項 2】

前記発光面は L E D ダイの表面であり、前記光学素子は前記 L E D ダイと前記再発光半導体構造体との間に配置されている請求項 1 に記載の光源。

【請求項 3】

前記発光面は、再発光半導体構造体の表面であり、再発光半導体構造体は前記 L E D と前記光学素子との間に配置されている請求項 1 に記載の光源。